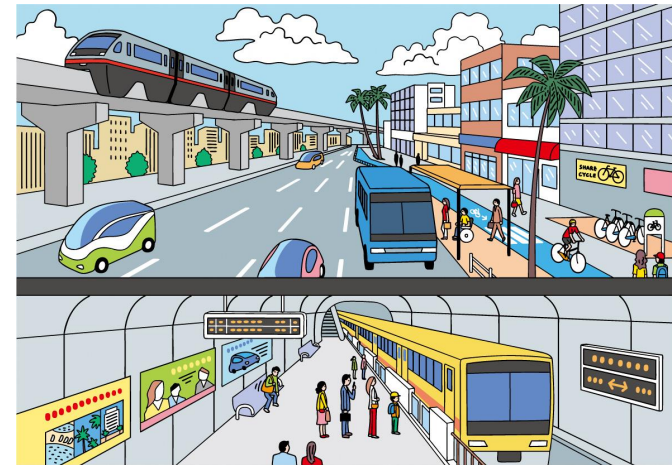
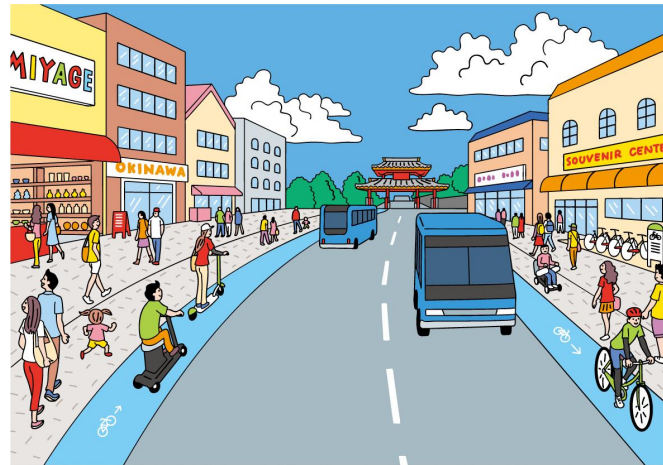
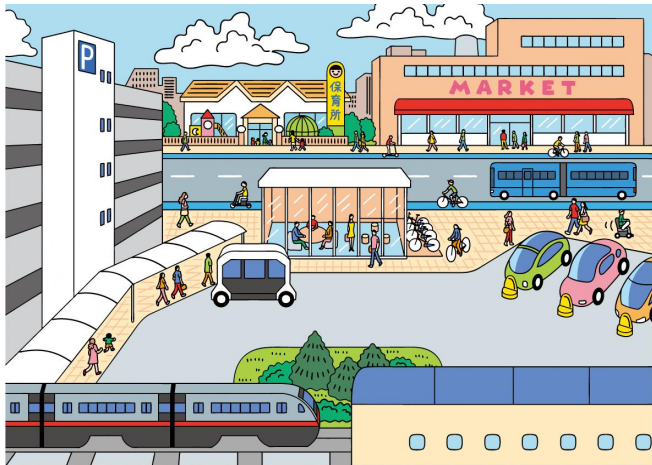


バス路線の維持に向けた取組（案）について

< 第2回 沖縄県地域公共交通協議会 >



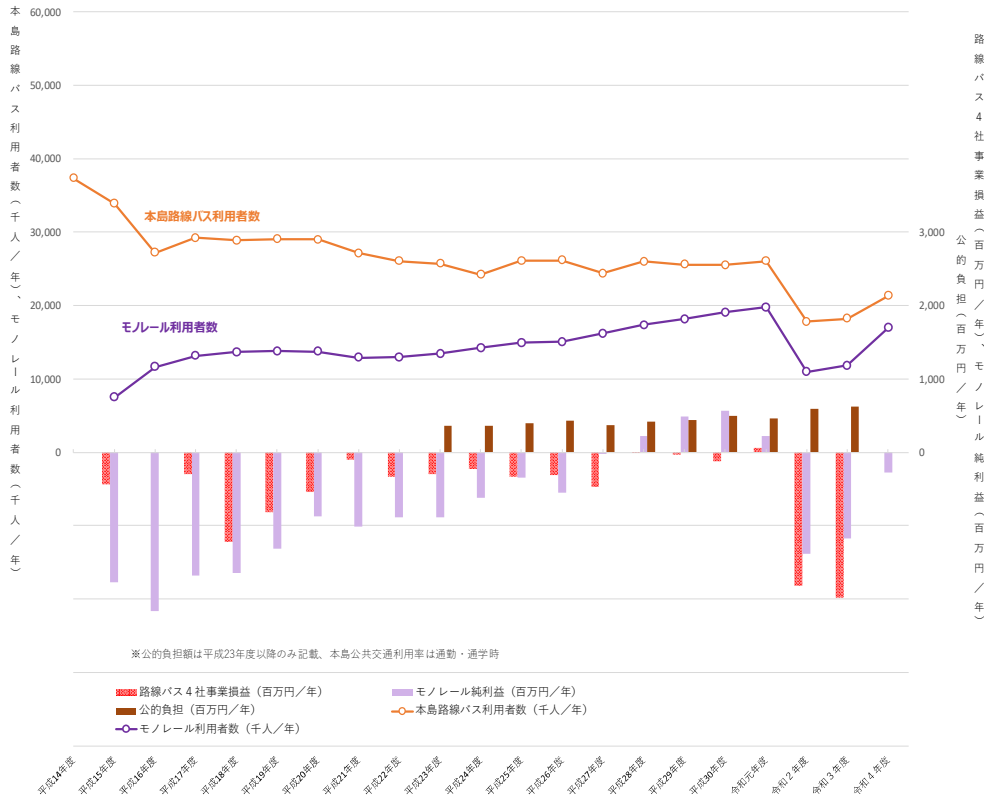
※沖縄県総合交通体系基本計画抜粋：「図4-6将来の交通結節点」、「図4-10持続可能な観光」、「図4-4公共交通のイメージ」

令和 6 年12月27日
沖縄県地域公共交通協議会

1 県内のバス路線とりまく状況等

バス利用者は年々減少傾向、収支のマイナス、公的資金の額も増加傾向

沖縄本島路線バス4社とモノレールの利用者数・収益・公的負担の推移



出典：乗合バス事業の収支状況は（国土交通省）の沖縄ブロックより作成
モノレールは(株)沖縄都市モノレールHPより作成
抜粋：沖縄県地域公共交通計画

直近2年間（R4～R5年度）で減便となった路線数82路線、417.5便

バス会社	系統	系統名	減便数	バス会社	系統	系統名	減便数	バス会社	系統	系統名	減便数
那覇バス	2	跡名開高線	△1.0	琉球バス	20	名護西線	△1.0	車馬バス	30	泡瀬車線	△11.0
	3	松川新都心線	△2.0		21	新都心具志川線	△2.0		31	泡瀬西線	△5.0
	4	新川おもろまち線	△5.0		23	具志川線	△6.5		37	那覇新聞線	△9.0
	5	跡名牧志線	△5.0		24	那覇大謝名線	△2.0		38	志喜屋線	△1.5
	7	舊里城下町線	△1.0		28	読谷線（楚辺）	△11.0		60	泡瀬イオンモールライカム	△2.0
	8	舊里城下町線	△1.5		29	読谷線（喜名）	△1.0		191	城間線 （一日橋経由）	△1.0
	9	小禄石嶺線	△2.0		50	百名（車風平線）	△5.5		331	聖母急行バス （久茂地経由）	△3.0
	11	安岡宇栄原線	△3.5		67	辺戸名高校線	△3.0		338	斎場御嶺線	△0.5
	13	石嶺おもろまち線	△3.5		70	備瀬線	△1.0		391	城間線 （サンエーバールコシティ）	△4.0
	14	牧志開高循環線	△2.0		83	玉泉洞線	△1.0	合計	9路線		△37.0
	16	新川石嶺線	△2.5		89	糸満線	△10.5	沖縄バス	36路線	データなし	合計 △269.0
	17	石嶺（開高線）	△2.5		111	高連バス	△0.5				
	19	舊里駅循環線	△6.0		120	名護西空港線	△3.5				
	25	那覇普天間線	△2.5		190	知花空港線	△5.0				
	97	読大線	△2.0		223	具志川おもろまち線	△1.0				
	117	高連バス	△1.0		228	読谷おもろまち線	△0.5				
	233	西原でたこ線	△3.0		65・66	本部半島線	△3.5				
	297	でたこ読大快速線	△4.0	合計	17路線		△58.5				
	346	沖縄読大快速線	△1.0	那覇バス	22	名護西線	△1.0				
	446	那覇糸満線	△2.0		21	新都心具志川線	△2.0				
合計	20路線		△53.0		23	具志川線	△6.5				
琉球バス	20	名護西線	△1.0		24	那覇大謝名線	△2.0				
	21	新都心具志川線	△2.0		28	読谷線（楚辺）	△11.0				
	23	具志川線	△6.5		29	読谷線（喜名）	△1.0				
	24	那覇大謝名線	△2.0		50	百名（車風平線）	△5.5				
	28	読谷線（楚辺）	△11.0		67	辺戸名高校線	△3.0				
	29	読谷線（喜名）	△1.0		70	備瀬線	△1.0				
	50	百名（車風平線）	△5.5		83	玉泉洞線	△1.0				
	67	辺戸名高校線	△3.0		89	糸満線	△10.5				
	70	備瀬線	△1.0		111	高連バス	△0.5				
	83	玉泉洞線	△1.0		120	名護西空港線	△3.5				

<参考>
路線バス廃線一覧（H26～R5年度）
※バス会社からの聞き取り

	バス路線	運行会社	廃止日
1	旧57：那覇マリンタウン馬天線	東陽バス	平成26年9月1日
2	旧59：那覇マリンタウン線	東陽バス	平成26年9月1日
3	旧58：馬天読大泡瀬線	東陽バス	平成27年4月1日
4	旧100・白川線	沖縄バス	平成27年4月6日
5	旧86：国吉（真栄里）線	琉球バス	平成30年10月1日
6	旧85：国吉（大里）線	琉球バス	平成30年10月1日
7	旧91：城間（南風原）線	東陽バス	平成30年12月22日
8	109：大里（真境名）線	沖縄バス	令和元年10月1日
9	旧49：南風原線（2代目）	沖縄バス	令和元年10月1日
10	旧53：志喜屋線	琉球バス	令和元年10月1日
11	旧100・津嘉山線	沖縄バス	令和2年5月3日
12	旧41：つさしろの街線	沖縄バス	令和4年4月1日
13	旧60：泡瀬イオンモールライカム線	東陽バス	令和5年9月11日

2 今後の取組（案）

1 事前相談の実施

・バス路線の減便・廃止等については、地域住民の日常生活・社会生活に与える影響が大きい。

・地域間幹線系統補助対象路線は、複数市町村を跨ぐ長大路線が多く、公的資（補助金）なしでの維持は困難

沖縄本島路線バスの地域間幹線系統補助対象路線
（令和6年度）
抜粋 沖縄県地域公共交通計画



取組（案）

沖縄県地域公共交通協議会



報告

部会
（沖縄県生活交通確保維持協議会）

分科会
（各圏域別市町村連携交通会議）

WGなどでの意見交換

検討事項等

・バス路線の減便・廃止への影響を低減するため、事前にバス事業者、関係市町村を含めた意見交換、情報共有の実施

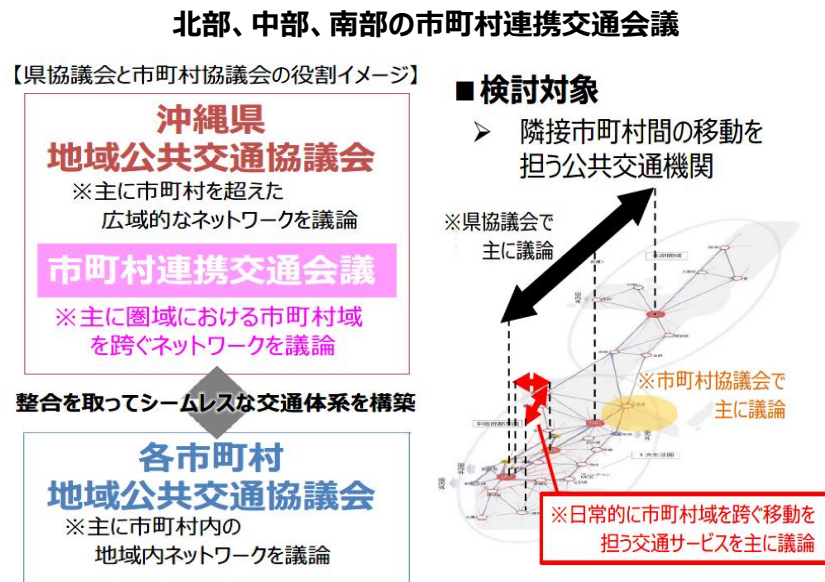
・国の支援策の活用を見据え、地域での移動手段の確保に向けた計画策定や事業化の検討等

市町村の地域公共交通協議会等でも同様、事前相談の実施が望ましい

2 県の取組（案）

2 各圏域のネットワークイメージを具体化（圏域別市町村連携交通会議）

- ・市町村連携交通会議では、コミュニティバス、路線バス等との連携による高校通学、日常生活の移動手段の確保の取組や、他県で運行しているフィーダー交通の事例等を踏まえ、北部・中部・南部圏域における最適な公共交通システムの構築に向けて、引き続き課題等を整理・共有し、検討を進める。
- ・令和7年度に各圏域における広域的な公共交通ネットワークイメージを具体化し、これを踏まえて各関係者が連携して対応していけるよう、検討を進める。



3. 公共交通ネットワークについて

（3）公共交通ネットワークのたたき

【北部圏域の公共交通ネットワークの基本的な考え方】

- 名護を圏域の中心として中南部圏域と高水準サービス確保
 - 名護市街地と、各市町村とのアクセスを中水準サービス確保
 - 運天港、渡久地港から名護市街地へのアクセスを確保
 - 過疎地域においてはおでかけができる水準を確保
 - 各市町村には、幹線系統が経由する交通結節点を位置づけ
 - 交通結節点までの移動はコミュニティ交通や地域の輸送サービスで確保
- ※平成26年北部地域交通体系基本計画をベースに作成

